

いま注目の企業紹介

有限会社万膳酒造

**Q** 空前の芋焼酎ブームと言っても過言ではない状況が続いていると思います。

**A** 二極化していると思います。大量に商品を提供しているのか、こだわりの蔵としての道を進むのか、どちらかでしょう。私どもは良いものを正當に評価して何処よりも高値で仕入れている自負があります。生産農家も後継者が育ちにくい経営環境です。一番に生産者に儲かってもらい、将来展望を持って欲しいです。

**Q** 業界が問われている課題があるのですね。

**A** 私どもにとっての課題は、調達、技術、後継です。過去、当時の国策で相当の数の蔵を廃業させたり、合併させたりということがありました。一時は路頭に迷うのでないかという時代も経て今を迎えています、大切にしなければならないのは地道に育ててくれた農業生産者と販売店です。

**Q** これからも同様の戦略で、といった継続性が重要になっているのでしょうか。

**A** 米の仕入れも重要です。日本酒でも使わない特Aを秋田や霧島から入れています。からいもの特性を生かしつつ土壌を守ってきた農家、納得ずくの付き合いで一生懸命に売り込んでくれた販売店にまずは利益が配分されて然るべきです。一方で、海外からの引き合いがあり、欧州、米国、韓国などに限定少量ですが提供を始めています。どこで情報を得たのか浸透してきていることに驚いています。

**Q** そのような万膳酒造さんと弁護士サービスの関係性をお聞かせ下さい。

**A** 日本食ブームもあるのでしょう。7、8年前から海外からの動きが強まりました。グローバルな動向に対応するセンス



代表取締役社長  
万膳利弘 様

が必要になっています。外国では州法にも向き合うことがあります。もちろんPL法、意匠登録など多々問題発生の可能性があり、予てより税理士と対策を考えていたのです。

**Q** グレイスとの出会いですね。

**A** 良い縁がありました。引き合わせてくれる機会を得て、いつでも動いてくれるとの安心感を買った様なものです。これからは相続のこともあります。万膳酒造を守っていく上での技術も含めた財産管理も課題になります。身近な例では酒販年金が解散したり、環境の変化にも対応しないといけませんね。

**Q** グレイスの印象はいかがでしょう。期待をされることなどもお聞かせ下さい。

**A** 信用と迅速性です。得意な分野を広げながらその力を発揮しているのではないのでしょうか。我々の業態や規模感で依頼するところは少ないはずですが、その点ではリーズナブルで有り難い安価な月々の顧問料だけでその他の費用は発生させないというシステムが助かります。

**Q** 最後にグレイスへのメッセージをお願いします。

**A** 万膳酒造は運がありました。また、人との繋がりでここまでできました。20代にとある契約で免許を危うく無くす事態に遭遇しましたが、その時に助けてもらった大恩と経験が今を支えているのだと思います。グレイスにもそのような役回りを多くの場面でしてもらいたいし、期待している迅速性に磨きを掛けてもらいたいです。

貴重なお話を誠にありがとうございました。

※これまでのインタビューの様子はHP「顧問先の声」にてご覧頂けます。

有限会社 万膳酒造

業 種 / 製造業  
所 在 地 / 〒899-4332  
鹿兒島県霧島市国分中央1-24-25  
代 表 / 代表取締役社長 万膳 利弘  
創 業・設 立 / 平成 8 年  
資 本 金 / 1000万円  
従 業 員 数 / 5 名 (平成26年 7月現在)

